

平成20年10月21日

各位

会社名 東芝機械株式会社
代表者名 取締役社長 中島礼二
(コード番号6104 東証第1部)
問合せ先 総務部長 綿屋慎介
(TEL. 055-926-5141)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成20年4月30日の決算発表時に公表した平成21年3月期の第2四半期累計期間および通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結 業績予想数値の修正

(金額の単位: 百万円)

(1) 第2四半期累計期間 連結業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	77,000	9,300	8,800	4,800	30円56銭
今回修正予想 (B)	72,000	8,400	8,100	4,800	30円56銭
増減額 (B-A)	△5,000	△900	△700	0	0円0銭
増減率 (%)	△6.5	△9.7	△8.0	0	—
(ご参考) 前期 (平成19年9月中間期) 実績	74,011	9,500	9,630	5,868	35円99銭

(2) 通期 連結業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	160,000	19,500	18,800	10,500	66円86銭
今回修正予想 (B)	142,000	16,000	15,700	9,600	61円13銭
増減額 (B-A)	△18,000	△3,500	△3,100	△900	△5円73銭
増減率 (%)	△11.3	△17.9	△16.5	△8.6	—
(ご参考) 前期 (平成20年3月期) 実績	148,779	18,971	18,178	13,910	86円79銭

2. 個別 業績予想数値の修正

(金額の単位: 百万円)

(1) 第2四半期累計期間 個別業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	46,000	3,300	4,900	3,200	20 円 38 銭
今回修正予想 (B)	40,300	3,000	5,400	3,800	24 円 20 銭
増減額 (B－A)	△5,700	△300	500	600	3 円 82 銭
増減率 (%)	△12.4	△9.1	10.2	18.8	—
(ご参考) 前期 (平成19年9月中間期) 実績	50,243	4,921	7,478	5,559	34 円 10 銭

(2) 通期 個別業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	96,000	7,000	9,800	6,500	41 円 39 銭
今回修正予想 (B)	80,500	5,200	8,400	6,200	39 円 48 銭
増減額 (B－A)	△15,500	△1,800	△1,400	△300	△1 円 91 銭
増減率 (%)	△16.1	△25.7	△14.3	△4.6	—
(ご参考) 前期 (平成20年3月期) 実績	101,083	8,608	11,937	11,818	73 円 74 銭

3. 修正の理由

第2四半期累計期間におきましては、米国発の金融危機など世界的な景気後退が顕著に現われました。また、設備機械産業は自動車販売台数減少に伴う関連業界の設備投資抑制等の影響を受け、当社事業の中核である成形機部門のダイカストマシン、射出成形機の需要が低迷したことにより、連結業績、個別業績ともに、当初予想を下回る見込みとなりました。

通期業績予想におきましても、世界同時株安、円高等が実体経済へ波及する恐れなど、景気の不透明感が増しており、設備機械産業における厳しい経営環境は第3四半期以降も継続すると考えられ、同様に当初予想を下回る見込みであります。

(注) 上記の予想は、本資料の作成時点における経済環境や入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上